

地域社会のために、ひたむきに。
次の100年のために、着実に。



次の100年の
まちづくり
人づくり

さはら 充 恭

発行所 〒448-8651 刈谷市豊田町1丁目1番地トヨタ紡織労組内

1) さはらが繰り返し提言してきた★刈谷駅周辺の乱横断抑止の取り組みがついに動きだしました。今後の動向を注視してまいります。

「乱横断」とは、横断歩道以外の場所を渡ったり、横断歩道の信号を無視して渡る行為を言い、**刈谷駅周辺で常態化**しています。昨年12月定例会で抑止策について再度一般質問した結果、**★刈谷市が以下2点の対策を開始しました。**



昨年12月定例会
一般質問

佐原 充 恭 議員

1. ☆乱横断抑止の啓発活動を実施。

3/19 刈谷市、刈谷警察署、地域ボランティア各位により①最も乱横断が多い駅北口のコンビニ前と、昨年死亡事故が起きた②県道知立東浦線のサンエイさん前を中心に、**☆啓発用ポケットティッシュを配布**しました。初めての活動でしたが、多くの方にティッシュを受け取って頂きました。乱横断の危険性が認識され、**最寄りの横断歩道や地下道等へ迂回して頂く第一歩**になったと思います。活動は**今後も継続実施予定**です。



2. ☆市が「刈谷スマートシティ実証実験PJ」のテーマに乱横断抑止を選定。

3/27に募集を始めた**刈谷スマートシティ実証実験プロジェクト**(市の課題解決の為、ICTや先端技術を活用した解決策を募集し、スマートシティ化を推進する取り組み)のテーマに**☆乱横断抑止を含む「大人に響く交通安全」**が選定されました。寄せられたアイデアが**実証実験につながる事**を期待します。

(1) 大人に響く交通安全(くらし安心課)

大人世代に対しては、交通安全教育や啓発で、行動に変化を与えることが難しく、乱横断や歩きスマホ、危険な自転車の乗り方等の交通ルール違反や事故が発生している。ICT等の技術を使って、交通安全意識を向上させ、事故の未然防止につなげたい。



ICT等で対策



詳細はこちらから↓

<https://kariya-smartcity.jp/project/problemsolving09/>

2) ★歩行者用信号を増設して頂きました（野田町塩田交差点）。

数年前に遡りますが、(株)ジェイテクトさんより、東刈谷事業場に近接する野田町塩田交差点の南北方向に、歩行者用信号を設置してほしいとの要望を頂きました。現地を確認すると、交差点の東西方向には歩行者用信号があるものの、横断距離が長い南北方向にはなく、車用の信号しかありません。その理由は不明ですが、観察していると、横断途中で信号が黄色→赤になり、渡り切れない歩行者や、車と歩行者がしばしば交錯する危険な光景が見られました。

そこで、市を通じて刈谷警察に★南北方向への歩行者用信号設置を要望した結果、実現しました。これで歩行者と車の交錯が減り、安全に通行できるようになったと思います。



3) 公園づくり（ミササガパーク再整備）に★さはらの要望が反映されました。

1. ★インクルーシブな遊具が導入されました。

昨年12月定例会の一般質問で、★障がいの有無や年齢に関わらず誰もが楽しめるインクルーシブな遊具の導入を要望した結果、設置されました。今回導入された遊具は、車いすからでも乗り移りやすい、自閉症のお子さん等が気持ちをクールダウンできる空間があるなどの特徴を有します。こうした遊具のある公園づくりは、SDGsの推進は勿論、誰もが安全かつ安心してくらするまちづくりを体現する取り組みですので、更なる導入を要望していきます。



2. ★トイレの目隠しフェンスが設置されました。

昨年12月定例会の一般質問で、市内の公園には動物や乗り物の外観をした「キャラクタートイレ」をはじめ、様々な構造のトイレがある中で、外から内部が見えてしまうなどプライバシーが確保されていないものが多数ある事を指摘し、そうしたトイレの入口に★目隠しフェンスの設置を要望した結果、導入されました。この取り組みが他の公園にも横展開されるよう要望していきます。



4) 4/12 臨時会報告

6月から始まる所得税と住民税計4万円の定額減税や、固定資産・都市計画税関連の法改正に伴い、市税条例を改正する議案及び、'26アジア・アジアパラ競技大会開催に向けたウイングアリーナ刈谷のメインアリーナ天井の改修及び照明LED化工事に関する議案を審議し、可決しました。定額減税には様々な意見がありますが、アフターコロナの刈谷の活性化につながる事を期待します。



5) 4/19 PEVE殿で、車載用電池について学びました。

刈谷市選出の細井県議と刈谷市議会「市民クラブ」のメンバーで、静岡県湖西市のプライムアースEVエナジー(株)(PEVE)新居工場さんにおじゃまし、車載用電池について学びました。

PEVEさんは現在、新居工場の敷地内に新工場を建設中ですが、BEV用電池の量産にはこれほど巨大な工場が必要なのかと驚きました。また、飼育するヤギが構内の除草を担うユニークな取り組みも印象に残りました。

ご対応頂いたPEVEの皆様、誠にありがとうございました。

